

平成30年度IP型システム仕様変更の予定について

	仕様	リリース予定	概要
1	大量アクセス検知時の会員特定	2018年4月	大量アクセス検知時に会員を特定し、速やかに指導が行えるようにします。指導に従わない場合は、後述の検索機能の利用制限を実施します
2	検索機能の利用制限	2018年6月	利用料未納者や不正な利用を行った会員に対し、検索機能の利用制限を実施します
3	図面・画像の容量制限緩和	2019年1月	現在、図面・画像登録時、上限(画像300KB)を超えている場合に自動で縮小されますが、上限容量を緩和します
4	マルチブラウザ対応 (Edge、Chrome)	2019年1月	現在、動作保証しているInternet Explorerに加え、EdgeやChromeでもレイズが利用可能になります あわせて、Safari(iOS11)やChrome(Android)の動作確認も実施することでタブレット端末での利用も可能となる見込み ※ただし、タブレットについては動作保証外
5	画像ファイルの直接ドラッグ	2019年1月	物件登録時、画像ファイルは、部品画像などに一旦取り込む必要がありますが、直接ドラッグ&ドロップできるようになります
6	「所在地3」の入力必須化	2019年1月	売買物件登録時、「所在地3」(マンションの場合は「部屋番号」も)の入力を必須化します なお、登録時に登録した物件を検索結果に「表示させる／表示させない」を選択することが可能とします